

取組事例

所定外労働削減・年休取得促進・多様な正社員・朝型の働き方・テレワーク



企業名：株式会社三菱東京 UFJ 銀行	所在地：東京都千代田区
労働者数：37,527 名	業種：金融業

取組の目的：

個々人の働き方を進化させ、今まで以上に時間の質と仕事の質を高め、企業としての生産性と従業員の「働き甲斐・やりがい」を高める。

取組の概要：

○トップメッセージ

個人の働き方や企業の制度・仕組み等を見直し、仕事もプライベートも含めた従業員の日々の生活を充実したものに変わっていくことで、時間の質や仕事の質を高め、企業と従業員一人ひとりの活性化と成長を実現したい。

○年次有給休暇の取得促進

年間 21 日付与し、13 日の年次有給休暇取得を組合と一緒に推奨している。

○10 営業日連続休暇取得

10 営業日連続の休暇を取得するように推奨しており、原則皆取得している。

○独自の休暇制度

ミニ連続休暇、スポット休暇、誕生月休暇のほか、勤続 10 年目、15 年目（支援金も支給）、20 年目に連続休暇を付与するリフレッシュ休暇などがある。

○早帰り日、週間、月間

毎週水曜日は早帰り日。加えて夏季（7 月～8 月）、冬季（1 月～2 月）は早帰り強化月間とし、各々 2 週間の早帰り週間の設定を呼びかけている。

○所定外労働時間の管理

社員の出勤は、PC のログイン、ログアウトを参考に正確に管理している。

○アンケートの実施

従業員満足度調査、スタッフ満足度調査として、原則年 1 回全従業員を対象に、企業文化の醸成を目的とした無記名アンケートを実施している。

○メリハリ・ワーク&ライフ運動

仕事と仕事以外の生活をおくることについて、労使と一緒に検討し、生産性の高い働き方、効率的な働き方を探求。カエル札を使い、予め退行予定時間を宣言することで、自分も、周囲も、早帰りを実現しやすい雰囲気を作っている。

○短時間勤務

育児や介護に携わる社員が、30 分単位で朝 30 分、夕方 1 時間の最長 1 時間 30 分の勤務時間短縮ができる。利用期間は、妊娠中から子どもの小学校 3 年修了時まで。

現状とこれまでの取組の効果：

○年次有給休暇の取得実績
2013年11.6日。

(H26.10)